

会 議 議 事 録

				記録者 廃棄物対策G 主幹 横田 純一	
供 覧	部 長	課 長	課長補佐 ・ GL	主査・係長	グループ員
件 名	令和元年度 第2回 龍ヶ崎市廃棄物減量等推進審議会				
日 時	令和2年1月27日(月) 午後3時00分から午後4時30分				
場 所	龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室				
主 催 者	産業経済部環境対策課				
出 席 者	<p>【委 員】 古井 恒, 仁平伸一, 大野みどり, 石嶋照幸, 大橋実紀, 大貫幸男, 中村寿子, 小林史人, 枘田道隆, 坂本一弘, 大藤剛志, 岡林正信, 外雅子, 亀高証, 松田美恵子, 高原博子, 杉野啓子</p> <p>【事務局】 宮川部長, 富塚課長, 山崎課長補佐, 宇津野主査, 記録者</p>				
欠 席 者	【委 員】 田崎智弘, 大竹昇, 藤田信夫				
内 容	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>(1)土浦市におけるごみ処理有料化導入後の事例研究 資料1</p> <p>(2)その他 龍ヶ崎市指定ごみ袋の価格改定について 資料2</p> <p>4 閉 会</p>				
宇津野主査	<p>それでは、定刻となりましたので令和元年度第2回龍ヶ崎市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。最初に委員の交代についてご報告いたします。</p> <p>つくばの里工業団地運営協議会の竹添正明委員につきましては、人事異動により交代となりまして、新たに坂本一弘様が委員となりましたので、ご報告いたします。</p> <p>それでは議事に入る前に本日の委員の出席者数を確認させていただきます。</p> <p>委員総数 20 名のうち、出席者が 17 名。欠席者が 3 名でございます。出席委員数に達しておりますので、規定により、本会議が成立したことをご報告いたします。</p> <p>まず、始めに古井会長よりごあいさつをいたします。</p>				
古井会長	<p>こんにちは。</p> <p>年明け早々というにはちょっと時間が経ち、年度末というにはまだちょっと間があるかなと</p>				

	<p>いうタイミングではありますけれども、大学は今日まで期末試験で先週末も一般入試があったり、その前の週はセンター試験があったり結構忙しい季節になっております。</p> <p>今日は皆さん、お寒い中お集まりいただき、どうもありがとうございました。土浦のごみ袋有料化のご報告と、それからもう一つ、龍ヶ崎市の指定ごみ袋について、ちょうど改定の時期に当たるということで、主な議題として二つについてよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
宇津野主査	<p>ありがとうございました。それでは早速議事に入りたいと思ひます。議事の進行につきましては古井会長にお願ひいたします。</p>
古井会長	<p>それでは始めたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>いつものことでございますけれども、まず会議録の作成にあたりましては、発言内容と発言者の氏名を記載するものといたします。</p> <p>また事務局で作成した会議録につきましては、一度委員の皆様へ会議録をお送りいたしまして確認していただけます。そのあとこれから選任させていただきます会議録署名人の署名をもって公開いたしますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは会議録署名人の選任でございますけれども、私の方から指名させていただきます。今回は仁平伸一委員それから、大橋実紀委員にお願ひしたいと思ひますがよろしいでしょうか。</p>
仁平, 大橋両委員	<p>了承の声あり。</p>
古井会長	<p>はい、どうもありがとうございます。今回会議録が作成されましたら内容をご確認いただいて、署名をお願ひいたします。よろしくお願ひいたします。</p> <p>次に審議中に各委員が発言をする場合、挙手をお願ひいたします。こちらから指名させていただきます後にご発言をお願ひいたします。</p> <p>それでは次第に従いましてこれから進めて参りたいと思ひます。まず初めに次第の(1)、土浦市におけるごみ処理有料化導入後の事例研究ということで、お手元に資料1があるかと思ひますが、これにつきまして、事務局の方からご説明お願ひいたします。</p>
山崎課長補佐	<p>3 議 事</p> <p>(1) 土浦市におけるごみ処理有料化導入後の事例研究について説明した。</p>
古井会長	<p>はい、どうもありがとうございました。</p> <p>ご近所の土浦市でのごみ処理有料化導入後ということで、1年ちょっと経っていますけれども、どういう状況なのかということで、いろんな角度からご説明がございました。</p> <p>これらの件につきまして、どんなことでも結構ですのでご質問等をご意見等ございましたらお願ひいたします。</p> <p>ちょっと私から一つ確認させていただきたいのですが、土浦市の場合は、生ごみを生ごみとして完全に分離して収集している。燃やすごみの中には入っていないはずですね。</p>
富塚課長	<p>はい、そのとおりです。先ほど、土浦市の生ごみについて堆肥化というようなお話をしたかと思うのですが、土浦市は民間のプラントの方に生ごみを収集して運んでいましてエネ</p>

	<p>ルギー化をしているという状況ですので、堆肥化ではなくてエネルギー化ということで、ご理解いただければと思います。</p> <p>あともう一点、つくば市議会という説明でありましたけれども、当然土浦市議会で発言したということですのでよろしくお願いします。</p>
古井会長	<p>どなたかいかがでしょうか。</p> <p>さしあたって、有料化するとかしないとかということではなく、ちょっと置いておいてというスタンスでいきたいと思います。</p> <p>お近くの土浦の場合、実際に 10 枚 500 円ですかね。ちょっと値段が高いかなというような金額かもしれませんが、それによって燃やすごみは減り、資源物については分別が進んでいるというような、ただずっと時系列で並べてみたデータというわけではないので、ポイントでの比較という感じではありますけれども、いかがでしょうか。</p>
柘田委員	<p>今、会長もおっしゃられたのですが、そのポイント、ポイントの比較の表がこれなので、この(6)に継続的なリバウンドやポイ捨てが見られずとありますが、継続的なリバウンドかどうか、ちょっとこの表からだ判断できないかなと思います。</p> <p>令和元年の 10 月と 11 月と比べても、ちょっと継続的なリバウンドがないとかあるとか、というのはちょっとまだ言い切れないのではないかなというふうに思います。</p>
古井会長	<p>確かに実施開始から 1 年くらい経つと何となく慣れが生じてということは、他の市町村の事例も、いろいろありますけど確かに今おっしゃられたような継続的なのかどうか、そこまで断言できないところがあるのかもしれませんが。</p> <p>はい、ありがとうございます。その他ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
大野委員	<p>今説明をいただいて土浦市の事例と、当市の現状と違うポイントが明確にはなっていると思いますが、このプラスチック容器の出し方とか、先ほどの生ごみの出し方とか、現状違いますけれども、やっぱりどうしてもこの値上げっていう部分だけ浮き彫りになってしまっていて、そうではなくて、今龍ヶ崎の市民の方も意識を持ってリサイクルをやってくださっていますが、それ以上に現状はもっと意識をもって、リサイクルや環境問題っていうことをつなげていながら、時間は掛かりますが意識を高めていくことも重要だと思います。</p> <p>ただ値段が上がるからやらなきゃいけないとか、お金がかかるからっていうところだけ浮き彫りになってしまうと、一時は良くても続かないのかなっていうのを感じました。</p> <p>なので、龍ヶ崎は 10 枚 110 円ですが、東京の小平市に行きますと、10 枚 800 円なので、八王子も 800 円近くするんですね、ちょうどちょっと子供たちがそちらにいますので、龍ヶ崎はすごく安いという意識もあります。土浦市の 10 枚 500 円も高いと思いますが、東京都内の 800 円はちょっと驚いたのですけれども、それでどんなふうに効果が出ているのかはちょっとわからない部分もあります。</p> <p>今ちょっと土浦市を聞いた限りでは 500 円でも高いですけども、それだけの 2 億円の収入があり、また先ほど言ったその生ごみのエネルギー化とかが本当に良くなっていてっていうか、高いけれども、とても環境問題にはいいことをしているのだからっていうような繋がりを感</p>

	<p>れますけれども、その部分もちゃんと協議して、また当市の方向性と協議しないと、上げるってことだけでごみを減量していくってことが、ごみの有料化なのですけれども、違うところもよく考えた上でアピールしていかなくちゃいけない部分かなと思います。</p> <p>だから方向性としてこのプラスチックのリサイクルに関してとか、この生ごみとかも、当市も考えていくことなのかなと思いました、以上です。</p>
古井会長	<p>はい、どうもありがとうございます。</p> <p>有料化イコール経済的圧力というだけではないというご意見かなと思います。やはり環境意識をいかに高めていっていかるところが、最終的な狙いかなという気はいたします。</p> <p>ありがとうございました。どなたか他にご意見ご質問ございましたらお願いいたします。</p>
仁平委員	<p>はい。この資料について、もう少し説明をお願いしたいのですが、(1)の最後のごみ処理施設への直接搬入の搬入実績の可燃・不燃とありますけれども、可燃の内容のものは、前のページまでの燃やすごみから、紙類までの中のどれが入るのかということをお聞かせしていただければ幸いですか。</p>
山崎課長補佐	<p>はい。土浦市は、資料 1 の(1)の燃やせるごみ、燃やさないごみ、容器包装プラスチック、生ごみ、ペットボトル、缶類などありますが、すべてそれぞれ回収しておりますから、原則としてこの直接搬入の中に、紙類とか布類とかそういったものは入っていないというふうに認識しております。以上です。</p>
仁平委員	<p>紙類・布類が入ってないということは、先ほどは生ごみのエネルギー化という話でしたので、燃やすごみが直接搬入の可燃の中に入っているということでしょうか。</p> <p>そうすると、直接搬入の可燃の令和元年 11 月は前年同月比+25トンですけれども、燃やすごみもある元年 11 月は前年比+55トンでどちらも増えているということになりますか。</p> <p>前年比同月と比較すると、純粋にそういう捉え方で良いということですか。</p>
山崎課長補佐	<p>土浦市のデータを提供していただいたので、燃やすごみも直接搬入も増えているのは何故だろうという話だと思うのですが、その辺の細かい内容についてちょっと聞いておりませんので、わからないのですが、ただ、いずれにしても、燃やせるごみと、直接搬入のごみには紙類は入っていないと認識しております。</p> <p>有料化をしたから、必ずしもごみが減るとも言えない部分もありますので、ただ全国的な傾向としては、そういう傾向があるのかなとは思っているのですが、ただそれが 100%ではないと感じております。</p>
古井会長	<p>ちょっと確認させてください。この土浦のデータというのは、あくまでも、一般廃棄物の中の家庭から出てくるごみで、事業所等のラーメン屋さん等から出る事業系ごみは含まれていないですね。</p>
富塚課長	<p>はい、そのとおりです。</p>
古井会長	<p>わかりました。</p>

<p>富塚課長</p>	<p>先ほど大野委員の方から、有機プラスチックのリサイクルというお話が出ましたので、ご説明だけさせていただきます。龍ケ崎市の場合は、ごみ処理を利根町と河内町と一緒に「クリーンプラザ・龍」という施設でやっておりますけれども、設計段階でプラスチック系のごみを燃料として使うということで、現在のごみ処理施設が設計されておまして、そういった意味で言えばサーマルリサイクル(熱回収)という言い方なのではございますけれども、そのプラスチックの熱量を活用しているというところがあります。</p> <p>それまで、旧清掃工場の時に始めたプラスチックごみの週1回の収集をやめたという経緯がありまして、そこで週2回の燃やすごみの収集が3回になったという経緯と今のごみ処理施設がそういったような形状ですので、容器プラスチックの方は別回収せずに、当市の場合ですと、利根町・河内町も同様なのですが、燃やすごみの中にプラスチック容器包装も入っていて、それが燃焼時の燃料になっているというところをご理解いただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
<p>古井会長</p>	<p>どなたか他にご意見ご質問ありますか。坂本委員お願いいたします。</p>
<p>坂本委員</p>	<p>はい。一般家庭のごみですが、有料化に伴い多分今度は有料じゃないところのごみが増えるというような、例えばコンビニで捨ててしまうとか、公園のごみ箱に入れてしまうとも考えられます。</p> <p>500円に上げたところでの土浦市のデータはそういうのがない。家庭系は減ったが、事業系として回収したものが増えてくる。トータルでは一緒になっては意味がないような気がします。一般家庭は減ったけど、他の公園とかコンビニ等が増えたねという様なデータも必要なんじゃないかと思えます。</p> <p>でも、有料化になるとそういう傾向になると思うのです。その辺のデータも、この土浦市のデータにないのかなと思いました。</p> <p>そういうところも、ちょっとで考えてもらったほうが良いと思います。一般家庭だけを見ていただけでもいけないのではないのかなと思うので、ちょっと考えていただければと思います。</p>
<p>古井会長</p>	<p>不法投棄とまでは言えないかもしれないけれども、決められた日時に出すのではなくて、例えばコンビニですとか、駅のごみ箱とかですね、確かにこれは駅で発生したごみじゃないなというようなごみも見かけたりしますね。</p> <p>ただ、それはちょっとデータの的に取れるのかどうかというところもあるかと思えます。ただ確かに、そういう要素は考えないといけないかもしれないですね。</p> <p>ありがとうございました。どなたか他にいかがでしょうか。</p> <p>はい。松田委員お願いいたします。</p>
<p>松田委員</p>	<p>先ほど大野委員のご意見には大変賛成なのです。私も子どもの環境教育学習とそういうことでちょっとお手伝いをさせていただいたこともあるのですが。</p> <p>先ほどのごみの減量について、そういう代金を上げるということだけではなく、私達子どもに対しても、地球環境を守る私たちの世代だけじゃなく、次の世代、またその次の世代に</p>

	<p>今より悪くしない生活環境を守るために、ごみの減量とか環境問題に取り込むっていうことを、難しいことですが、少しずつ啓蒙していくような動きをしていった方がいいのではないかなと思うのですね。</p> <p>ごみのポイ捨てとか、ごみ袋をスーパーマーケットなりコンビニなり捨てられるのは、今もよく家庭のごみは持ち込まないでくださいとスーパーマーケットとかにも書いてあるので。</p> <p>お金が幾らだから捨てる・捨てないではないと思うのですね。やっぱり意識が高いか低いか。自分たちの生活を守るだけでなく、これから子どもたちの生活環境をより良く残すために、私たちが負債を残さないようにしたいと思うのですね。</p> <p>ただ、本当に 500 円だろうと 1000 円だろうと、ごみを捨てる人は捨てるし、また、ご近所でこれはリサイクルできるのではないですかってその一言さえも、やっぱりプライバシーという問題もあるので、なかなか注意というか、お話もできないのですね。</p> <p>だからもうかなり個人的な意識のレベルだと思うのですが、本当に小さい幼稚園からいったほうがいいのか、小学校から環境教育講座をやったほうがいいのか、いろいろ考えるのです。どうして子どもに教育をするかという子どもが家に帰って、ご両親に話して親御さんの意識を高めるためにというのもあったのですね。</p> <p>でも本当にそれはゆっくりで、半歩ずつその 3 分の 1 歩ずつぐらいしか進まないと思うのですが、こちらにいらっしゃる審議委員の方々にも、それだけは有料だからとか、お金の経済的な効果だけを望むのではなく、自分たちの地球を守るっていう意識で、本当に際限のないお話なのですが、そこを意識して進んでいただけたらなと思います。</p>
古井会長	<p>はい、どうもありがとうございます。サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ(SDGs)という、2030 年までの目標もございますけれども、やはり小さい子どもたちが、お母さんそうじゃないよみたいな会話がゆくゆくは、ごみ減量に効いてくるのだというような感じもいたしますし、むしろ小学校くらいのところで、いろんな意味で環境教育はなされているのだと思うのですが、そのあと段々子どもたちが年齢を経っていくと、まあいいかみたいな、逆にそこで切れてしまっていてという問題もあるかなという感じもいたします。</p> <p>どうもありがとうございました。その他いかがでしょうか。小林委員、いかがでしょうか。</p>
小林委員	<p>はい。(6)のところですが、今直面している問題として、増大するごみの処理費用による財政の圧迫と書いてあるのですが、結局ですね、先ほど事務局からあったように、ごみ袋の料金価格を上げることで、やはり選挙に関係してきてしまうということで、なかなか行政としては判断がしにくいのかなと思っていておりまして、やはり一番後に今後も先進事例の調査研究に努めるものとしますとありますけれども、どこまで調査研究したらゴールに辿り着くのか、いつどこで判断するのか、このごみの推進審議会というのはゴールがないのかなと思うのですが、</p> <p>ごみ袋の料金改定、これをするのかしないのかをはっきり決めるのか決めないのか。それぞれ今後研究しますとずっと続けていくのか、そうするとこの会議っていうのはみんな</p>

	<p>な忙しい中で来ている中で、無駄な時間になってしまうのかなというところで、ちょっと率直な質問なのですけれども、ここまで行ったらゴールだという目安はあるのでしょうか。以上です。</p>
<p>富塚課長</p>	<p>はい。有料化の問題で、たまたま近隣で 500 円という値段を設定した土浦市の事例があったので、状況を見ながら、参考にして当市も進めていきたいという思いもあったのですが、市長が交代されて新しい市長が見直しというようなお話もされているということもありますが、これまでの有料化を行った市町村でも、やはり 500 円から値段設定を 400 円とか 350 円に下げているところの例もありますので、そういったところのものは一つ一つ状況を見ていくしかないのかなというところがあります。</p> <p>あと、このごみの有料化については、この廃棄物減量等推進審議会委員の方から、過去に 2 度ほど、単純賦課方式で有料化をするべきでしょうというような答申を、出していたのですが、そういった中で社会情勢等を勘案しつつ、判断するというところがありまして、一時各地区を回って説明会を行ってごみ有料化についてご説明をさせていただいていたこともありました。</p> <p>その時には、やはりちょっと一部反対と言いますか、何故今やるしかないのかというようなご意見が非常に多かったので、なかなか現実的に有料化に進めなかったというところがございます。だからといって時代の流れとしては、有料化というものがないと龍ヶ崎のごみ処理施設においても、将来的な建て替えというような問題とか、或いは最終処分場がなくなってしまう問題もありますので、そういった費用負担の問題もありますので、中々現実的にすぐやりましょうと言ってもできるものではありません。</p> <p>何年かかかるようなところを、いつの時点かで判断してやっていきたいなというところではありますが、時代も変化していて、周りの状況も変化していく中では、その時々のお集まりの皆さんのご意見を伺いながら方向性が示されつつ、何らかの形でまとまれば、出していきたいと考えています。</p> <p>またそれを別に置いておいても、なかなか進まないといいますが、現実を直視できないというか当面の一番の課題なので、そこはやらせていただく必要があるのかなと考えております。</p> <p>委員さんのご意見が、直接行政に反映されなくて申しわけない部分もあるのですが、ご意見は引き続きお伺いさせていただきたいと思っていますので、よろしくご協力の程お願いします。</p>
<p>小林委員</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>住民の反対というものも、もちろんあると思うので大変だなと思いますけれども、今後、また進めていただければなと思います。</p> <p>もう 1 点ちょっと別件なのですが、最近龍ヶ崎ですと、外国人の入居者というか居住者が増えてきていると思います。</p> <p>特に国籍で言うとスリランカの方等が非常に増えてきておりまして、私仕事柄どうしても絡みがあるのですが、ごみの分別とか、捨てる方を守らない。コンビニの袋やスーパー</p>

	<p>の袋に入れて捨ててしまう。注意しても守らないという文化の違いがどうしても出てきてしまっていて、コンビニに捨ててしまう事例もあり、これが多くてコンビニからの苦情が入ってきておりまして、コンビニの従業員さんは直接怖くて言えないというところで捨てられてしまうという現状があります。</p> <p>そこはやっぱり自治体単位で、住んでいる住民の国籍というかその文化もあると思うのですけれども、多分龍ヶ崎はスリランカの方が多いか、これは地域でちょっと違うと思うので、そこら辺のデータもし収集できるのであれば、ちょっとぜひ伺いたいというのと、もし解決策があるのであれば、これは意見というかお願いになってしまうのですけれども、お願いできればと思います。以上です。</p>
山崎課長補佐	<p>はい。外国人の方につきましては今龍ヶ崎で、皆様の世帯に毎年お配りしているごみの出し方チラシというものがあありますが、外国語版を5か国語作っておりますが、ここ近年ですね、市の市民窓口課の方に確認しますと、小林委員がおっしゃったようにスリランカの方、それと次がベトナムの方が急増しているというような状況でございます。</p> <p>その外国語版のごみの出し方チラシ、スリランカはシンハラ語とタミル語の二つの言語があり、あとベトナム語ということで、この三つにつきましては外国版が今当市にございません。</p> <p>ただベトナム語については、今年度の目標であったのですが、ちょっと中々進んでいないのですが古井会長のゼミ生に、ベトナム人の留学生が2人いらっしゃるのですが、そちらの方に協力をいただくということで、進めようと考えていたのですが、ちょっと現在止まってしまっている状況です。</p> <p>また、スリランカの方につきましては、なかなか英語版とかそういったものでは、やっぱりわからないらしいのです。外国人の方を中心に雇っている人材派遣会社があるのですが、派遣元は英語とか日本語をしゃべれるのですが、労働者として日本に来ていらっしゃる外国の方はほとんど英語も喋れない、当然日本語も喋れないという方が多いので、一応その都度ですね、当市で外国語、例えばスリランカ語に翻訳した分別の仕方みたいなものを配ったりはしているのですけれども、何分我々も、どこのアパートに何人の方が住んでいるとか、そういった情報はありません。</p> <p>市全体でどのくらい入ってきているというのは分かるのですけれども。どこのアパートに、どういう外国人が入っているかっていうのは全然ちょっと情報がなくて、例えば業務上とかですね、あるいは、地域住民の皆さんで、「あそこのアパートには何人の方がいるよ。」ですとか、ごみ出しが守られていないということを、情報提供いただければ、翻訳したチラシ等をポストに投函するなどやっておりますので、ご協力の方をお願いしたいと思います。以上です。</p>
古井会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ちょっと時間も押していますので、実はもう一つご議論していただきたい内容がございます。それが終わってから全体でのご質問というような形にさせていただければと思います。</p> <p>では、二つ目の議題よろしくお願いたします。</p>

山崎課長補佐	<p>3 議 事</p> <p>(2)その他 龍ヶ崎市指定ごみ袋の価格改定についてについて説明した。</p>
古井会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>ちょっとバックグラウンドというか、その辺をご説明していただければと思うのですが、龍ヶ崎市の場合は有料ごみ袋っていうことではなくて、あくまでも流通、小売店等で皆さんがお買い求めいただくためには、それなりの原価コストがかかっていることもあって、とりあえず燃やすごみ袋大が 110 円というところにおさまっていますけれども、例えば龍ヶ崎の場合は袋の製造メーカーが龍ヶ崎市の市役所に納品して、それを市の職員の方が週1回、それぞれの小売店に配達というようなことで配達のような形を取っていただきますので、ちょっとその辺の枠組みのところを皆さんにお話していただければ、こういう仕組みで動いているのかっていうのが、ご理解いただけたと思うのですか。いかがでしょうか。ちょっとお願いします。</p>
富塚課長	<p>はい。当市の指定ごみ袋については、市が製造業者の方に発注をしてごみ袋の納入をしてもらおうというところがございます。</p> <p>ごみ袋の販売をしていただけるスーパーさんとかコンビニさんと協定を結んでおりまして、指定した価格で販売をしていただくというような形になっております。</p> <p>牛久市さんなどは最低価格というような形をとっているのですが微妙に違うのですが、当市の場合は、可燃ごみの大であれば 10 枚 110 円で売ってほしいという協定を結んでおります。</p> <p>その注文があった分を当市からダンボール箱で配送し納入するような形になっていて、1箱(500枚入)売っていただくと、その販売店に 1000 円の手数料をお支払いするというような形をとっています。</p> <p>先ほどの説明の中でごみ袋の値上げを数十円というような形でちょっと申し上げたのですけれども、これはまだ全然決まっていなくて、数字としてなかなか書くのは難しいところもあるのですが、一応事務局の方で考えているところでは可燃の大と不燃の大の袋については各 20 円ほどアップしていくと大体そのコスト的に見合うところがありまして、小さいほうの袋については各 10 円ほど上げるようなところの案を事務局の方で今作っているところですので、これは市内部の決裁段階で全く変わってくる部分がありますが、そういった検討を今事務局の方でしておりますので、廃棄物減量等推進審議会の皆様にはこの機会にお知らせをしておくべきだろうというところがありまして、今回申し上げたところでございます。以上です。</p>
古井会長	<p>今、原価をいろいろ計算中という段階ですけれども、掴みというか、大ざっぱなところだと大袋が 20 円アップで小袋が 10 円アップくらいかなと。</p> <p>あまり細かい金額には多分ならないだろうということですね。1 円単位とかいうことではなくて、大ざっぱなお話かなと思います。</p> <p>これについて何かご意見とかご質問ございましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>

大野委員	<p>すいません、初歩的なものかもしれませんが、これ 110 円という金額は本当に最低限なのかと思うのですけれども、さっき 1 箱 500 枚に対して 1,000 円を支払いして、収益についても、もっとも赤字とか、消費税が上がっている状況もありますけれども、現在 110 円の状況というのは苦しい状況なのですよ。</p>
富塚課長	<p>消費税の上った分の転嫁のやり方として、10 円未満の端数のお金については切り捨てをするというような趣旨の内部的な話がありまして、過去 2 回の消費税改定とともに、価格を据え置いてきたという経緯もあるので、本来の価格からすれば、8%から10%になったので、牛久市さんなんかはやっているのですけれども、相応の金額を転嫁しておけばよかったのですけれども、当市は内部的な取り決めの中で、1 円単位の端数は出さないような価格にしていく取り決めがあったので、ずっと変わらない価格で抑えてきたというところがあります。そういった消費税分についても当然ながら、転嫁していない部分についてはマイナスになっていますし、また、各市町村によって納品のやり方も違うのですけれども、河内町さんなどは販売店さんがごみ袋を取りに来て持っていきみたい、倉庫から持ってくやり方をしているのですが、当市は各販売店に配送をしておりますので、配送費用も当然かかるわけですし、その辺の費用の算出等については、ちょっと今まで十分に計算に入らなかった部分もあったので、その辺ももう一度精査しつつ、適正な価格については、計算していきたいと考えておりますのでご理解いただければと思います。</p>
大野委員	<p>はい、わかりました。</p> <p>もう一つごみ袋の質について、ちょっとお聞きしたいのですよね。他の市町村のごみ袋の質がどういふものなのかちょっとわからないのですけれども、今の当市のごみ袋がすごく切れやすいという声をたくさんいただいでいて、ごみを入れると角の部分が破けてしまうものが結構多いのですよね。他の市町村のごみ袋の質がどんなものか分からないのと、また、当市のごみ袋の質が最低限の原価で作られたものなのか。これについて、もうちょっと質を上げるといいますか、改善みたいなことを価格を上げることと同時に考えてくださるのか、そうなるのかなり金額面でかかってしまうのもわかるのですけれども、その点をお聞きたかったのです。ごみ袋の状態について教えてください。</p>
富塚課長	<p>はい、当市の発注方法としては、まず指名競争入札という形で業者さんを 1 社に偏らないように、2 社或いは 3 社に分けて発注をしているという様な状況です。</p> <p>1 社のみで発注してしまっていて、その会社が、万が一事故等で遅れるということになりますと、大変だということで分散をして、いくつかの業者に出すというやり方をしているのですけれども、そういった中で、新しくやりたいという会社さんが出てきて、そういう業者さんが一番安い価格で落札して、実際に納入をされたのですけれども、導入するときには試験を行って基準もクリアして、物を納入する際には試作品も出してきてもらって、当市も確認するのですが、実際には、工場のラインごとに多少製品にばらつきが出るみたいなどころの中で、そういったその製品管理の部分が十分でなかったというようなところがありまして、実際には切れやすいごみ袋が納入されたということがありました。</p> <p>結構苦情等もいただいて現物を確認したのですけれども、そういったことがあったので、</p>

	<p>そういった業者さんには指名をかけずに、次の入札に参加しないようなやり方をして、これまでの納入実績のあるような業者さんの中で今続けている状態です。今現在では切れやすいものは、混在してないということではあるのですが、実際に東南アジアの方で、製造するような形に、どこの会社もなりますので、そういう製品管理っていいですか、そういった管理の意識というのは、多少日本と比べてレベルがちょっと落ちるような部分もあったりして、そこをどのように指導していくかというところの経費的な部分をかけられる業者さんは、やはり製品のいいものを納入できるということになるのでしょうかけれども、あくまでも一番安く落札した会社さんに製造をお願いしているところがあるので、その辺、この会社はいい製品を納めるから、そこだけと契約しようというやり方でない部分もあったりするので、非常に、それなりの製品のもので、安く収めていただくというところのやり方をしている中で、また新規業者さんが参入されたりすると、そういったケースも出てきてしまうというのが現状でして、そういった部分では切れやすいごみ袋でご不便おかけしたところもありまして、ちょっと反省しているところでございます。</p> <p>申し訳ありませんでした。</p>
大野委員	<p>わかりました。</p> <p>業者によって違うということなのですね。燃やさないごみ袋の方は伸びると思いますが、燃やすごみの袋は伸びない。これには何かあるのですかね。燃やすごみの袋はちょっと違いますよね。</p>
富塚課長	<p>ごみの袋についても、いろいろ作り方の考え方がありまして、再生したものを使っている市町村もあるのですけれども、ちょっと割高になるみたいな話もありまして、そういうところが得意な業者と、新品の素材を使ったほうが得意な業者さんもあったりしますので、なかなか一概にどっちが良いのかという判断も難しいところもあるのですが、どうしてもある程度、安く落札するような業者さんは、厚みもぎりぎりの余裕を持たないところで基準をクリアするのですけれども、ある程度その優良な会社さんはちょっと厚みも余計に作るみたいところがあります。</p>
大野委員	<p>分かりました。ちょっと値上げするのであれば、質もある程度配慮していただきたいなってそう思います。以上です。</p>
古井会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>どなたか、他にご意見とかご質問ございましたら、お願いいたします。柘田委員お願いします。</p>
柘田委員	<p>ちょっと今の話と前の話と一緒に合わせて考えたいのですが、先ほど小林委員からゴールはいつなのかという質問があったと思うのですが、</p> <p>私もこの審議会に来て、かつて答申されたものを見たことがあるのですよ。資料として配られたことがありまして。あれはもう6年とか8年くらい前だったと思うのですが、それから確かに進展していないというか、いろいろ議論されているけれども、本当にいつまでに終わるのかというゴールが見えないのです。もう一つゴールというのはある目標があって、それ</p>

	<p>を達成すればどうなのかという姿がよく見えてこないなどというのがあるのですね。</p> <p>例えば、今ごみの目標値が決まっていますよね、何年までに何グラムにするっていうやつが。目標を達成したからどうなのかというのもよく見えないし、それから、ごみ袋の有料化については例えば 500 円にしる 300 円にしる値段を上げたら、確かにそれに関わる色々なごみ処理費用がそれに補填されて、結果的に減るのだというのもわかるのですが、どれだけ補填すればいいのかと、そこから逆算すると、ごみ袋は幾らにならなければいけないのかっていう、そういう理論武装的なことがないと多分市民の方には感情論だけになってしまうと思うのですよ。</p> <p>値上げについてはたかが何百円と思う人もいれば、凄く高いと思う人もいるし、そのところでどういうふうに理論付けするということちょっと大げさかもしれないけれども、説得力を持たせるようなものがないとどうも感情論だけで終わってしまって、いつまでたっても決まらない気がしてならないのですよ。</p> <p>例えば、ごみを減らすと最終処分場がどれだけ持つのだとか、以前計算したことがあるのですが今の目標値だと大したことはないのですよね。それ程はもたないのですよ。伸びないのですよね、寿命が。そういったことをじゃあどれぐらい寿命を伸ばせばいいのかとかそういったものと掛け合わせていかないとどうも説得力がないなど。市民に対してはですね。</p> <p>どういう印象になるかと、ここに議員さんの委員もいららっしゃいますし、先ほど土浦の市長選挙の話もありましたけど、もしこれを公約するのかもしれないのかは別として、訴えたとして、市民から見れば、市民がごみを減らさないから値段をあげれば減るようになるのではないかと、そういう印象をとられかねないかもしれないなど。お金を高くすれば、きっとごみを減らすのだらうと。だから値上げするのだよと、処分料金を取るのだよと、そういったことを誤解されてもね。これは誤解だと私は思うのですよ。</p> <p>やっぱり先ほどね、地球環境からとか、色々なことから考えると、やらなきゃいけないことだと思うのです。ごみを減らすこと自体は。だけど、そういうことの誤解とか、言葉の言い方で、反対運動が起こるっていうことも、十分考えられます。土浦市で市長が変わったら値下げしようとかっていう再検討という話になってくると、ちょっとまた議論が後戻りというか、これまで一生懸命検討したことが何なんだったということになり兼ねないので、その辺の理論武装的なところも考えてもらいたいと思うのですよね。それが無いと、いつまでたっても反対だ賛成だ、高い安いで終わってしまうような気がしてならないのですけれども。そういう意見です。</p>
古井会長	<p>はい、どうもありがとうございます。</p> <p>柘田委員の凄くベーシックなお話をされたような気がいたします。市民を舐めるなという話もありますよね。ごみ袋の値段を上げれば出さなくなるだらうと、そう簡単な話でもなさそうだよということを結構たくさんの方が気づき始めているということも事実かなというふうに思います。どうもありがとうございます。</p> <p>その他ご意見ご質問ございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。</p> <p>ちょっと予定時間を超過してしまいました。ただ、ここだけは是非とも一言言っておきた</p>

	<p>というようなことがございましたらお願いいたします。</p> <p>もし、ございませんようでしたら、本日の審議会はこの辺で閉じさせていただきたいなと思います。それでは進行を事務局の方にお返しいたしますよろしく申し上げます。</p>
<p>宇津野主査</p>	<p>長時間にわたり、ご審議いただきましてありがとうございました。次回につきましては、3月24日頃の開催を予定しております。事務局からお知らせいたします。会議録は事務局で作成し、後日確認等していただきますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上で令和元年度第2回廃棄物減量等推進審議会を閉会いたします。大変お疲れ様でした。</p>
	<p>令和2年1月27日に行なわれた会議の内容については、上記のとおり相違ありません。</p> <p>令和2年4月20日</p> <p>議事録署名人 _____</p> <p>議事録署名人 _____</p>